

科目区分	専門教育科目	科目名	栄養教育指導論Ⅰ		科目コード	17S580	担当者	古賀 克彦			
対象学生	栄養士コース1年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
学生が栄養指導に必要な理論や技術、および基本的知識を修得することを目的とする。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行主体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	食生活の変遷と疾病構造の変化や、関連法規や各種基準について理解する										
2.	栄養指導に必要な各種理論や技術を習得する										
3.											
4.								◎	○		○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（100%）					
講義形式											
準備学修						課題等への対応					
あらかじめ教科書に目を通し、理解できない箇所を予習しておくこと（学修時間の目安：毎週1時間程度）						定期試験解説を試験終了後に実施					
授業計画											
第1回	栄養教育の概念										
第2回	国民栄養の変遷と栄養教育・指導① 食生活の変遷と疾病構造の変化										
第3回	国民栄養の変遷と栄養教育・指導② 国民栄養の現状										
第4回	国民栄養の変遷と栄養教育・指導③ 食の消費動向と栄養教育										
第5回	行動科学理論と栄養教育・指導① 行動科学理論の栄養教育・指導への適用とその方法										
第6回	行動科学理論と栄養教育・指導② 食行動の形成と栄養教育										
第7回	栄養教育・指導マネジメント① 実態把握（栄養アセスメント）										
第8回	栄養教育・指導マネジメント② 栄養教育・指導プランニングと評価										
第9回	栄養カウンセリング① カウンセリングの理論と方法										
第10回	栄養カウンセリング② カウンセリングの栄養教育・指導への適用と実践										
第11回	食行動から捉える栄養教育・指導										
第12回	栄養教育・指導の為の実践基礎知識① 日本人の食事摂取基準										
第13回	栄養教育・指導の為の実践基礎知識② 健康づくりのための食生活指針										
第14回	栄養教育・指導の為の実践基礎知識③ 健康・栄養・食生活知識の獲得										
第15回	栄養教育の方法										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
栄養士のための栄養指導論 第4班 芦川修貳著 学建書院						いくら栄養に関する知識を習得しても、学んだ知識を相手に理解してもらい望ましい食習慣を行うように相手の行動を変容させていかなければ栄養士の仕事は成り立ちません。 この授業では、栄養指導を行う際に必要となる基礎的な知識を習得し、栄養指導対象者に食習慣改善を行ってもらう方法について学んでいきます。					